

# 市教委「公民館の今後のあり方（初案）」示す 20年10月「廃止」「有料化検討」

パブリックコメント(10月8日～11月6日)実施中

宇治市教育委員会は、9月定例会(9月16日、10月10日)に「宇治公民館の今後のあり方(初案)」を報告しました。来年10月末で公民館を廃止、複合・統廃合で有料化を検討するとしています。条例改正案を3月定例会に提出する予定です。

宇治市は2017年(平26年)に公共施設等総合計画を策定し、公共施設を今後30年間で延床面積の20%を削減するとし、公民館も削減の対象としています。

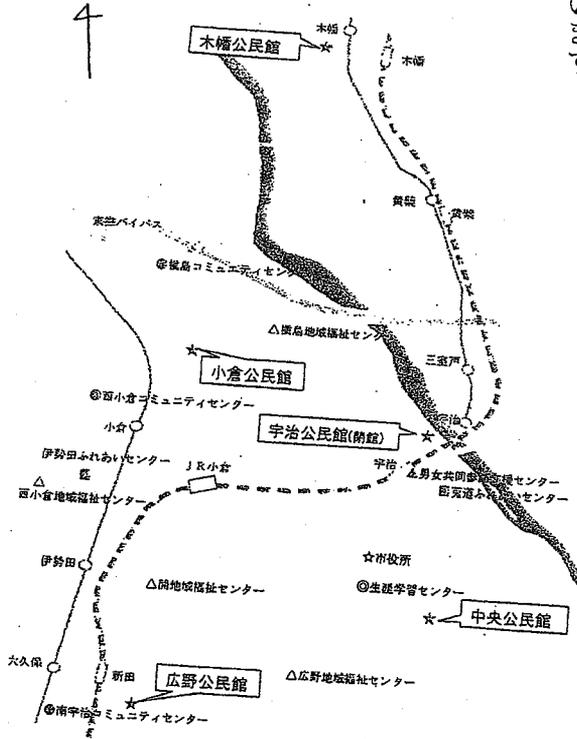
市教委が示した「初案」は、17年度末(平29年)に閉館した宇治公民館を始め、早急に市内5公民館の課題解決や他の公共施設との複合化・統廃合の検討が必要であるとしています。

## 生涯審の答申

## 公民館の6つの課題

市教委は、公民館の課題を検討するとして、18年(平30年)6月、生涯学習審議会に「公民館の今後のあり方」を諮問し、19年(平31年)2月に答申を受けました。

「答申」で挙げられた「公民館の課題」では、●サークルの登録制が、新規利用の妨げになることもある。●利用者



市内公民館の配置図

**公民館のあり方を考える交流会**

■10月27日(日)  
午後7時～9時

■ゆめりあ宇治(JR宇治駅前)  
**公民館は何をしたらいいか**

お話: 藤井 功さん  
(元宇治公民館主事・社会教育主事・同志社大学大学院講師)

公民館のあり方を考える交流会実行委員会  
(連絡先: 武智 0774-33-0522)

が固定化されている。●利用者の年齢層に偏りがある(高齢者が多い)。●部屋の種類によって利用状況に差がある。●公民館の役割を利用者に周知できていない。●現体制では、社会還元に向く指導・育成まで手が回らない。としています。

## 一転して廃止・有料化検討に

生涯審が指摘した課題は、体制の強化など、現行の公民館施策を充実させれば解決できることばかりです。

ところが、市教委が策定した方針は、「公民館を廃止し、新たな教育施設として運営方法等を見直す」、「他の公共施設との整合を図る中で有料化を検討す

る」、「中宇治地域に生涯学習の場を確保する」というものです。  
**廃止しなくても解決できる!**

かつて、公民館に専門の公民館主事が常駐していたときは、5館8講座・10万人が受講し、活発な人材育成で様々な分野に市政参加していました。ところが現在では、貸館機能が重視され、1館8講座3千人程度の参加です。公民館主事としての必要な研修も受けられず、非正規の嘱託職員となっています。

文教福祉常任委員会で党議員は、「生涯審の指摘した課題が、なぜ、『公民館の廃止』や『有料化の検討』になるのか、廃止しなくてはできないのか」と追及しました。

市教委は当初、ありきの答弁を繰り返していましたが、しかし、最後には「廃止しなくてもできる」と答弁しました。

**日本共産党宇治市会議員団**  
**団をよび** 2019.10.20  
 TEL 0774-22-3141 (市役所内)